

LACIE								
ドライブ型番	ファームウェア バージョン	Disc At Once	ダイレクト カッティング	メディアレスキュー 物理復旧	CD TEXT	転送速度エラー 回避機能	CDRメディア 製造元表示	その他の制限事項／注意事項
CD-BP12432S	2.17	○	○	×	書/読:○	○	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。
CDBP-241040A	—	○	○	×	書/読:○	○	○	・BURN-Proof がオフの場合、CD-Rメディアへの最大書き込み速度は16倍速となります。
CDBP-321040A	—	○	○	×	書/読:○	○	○	
CDBP-401240A	—	○	○	×	書/読:○	○	○	
CDR-RW12432S	—	○	○	×	書/読:○	—	○	・キャプチャでの音楽トラック読み込み速度は常に8倍速相当です。 ・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。
CDRW-BOOSTER	1.07	○	○	×	書/読:○	—	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。

【その他の注意事項】

*対応ドライブとして記述されたドライブ型番でありましても、接続I/Fが変換（例：ATAPIからUSB,IEEE1394,SCSIなど）されたドライブでは正常に動作できない場合があります。

*表中N/Aは、ドライブ(F/W) 毎に機能搭載の有無が異なるために特定できないことを指しています。

LG								
ドライブ型番	ファームウェア バージョン	Disc At Once	ダイレクト カッティング	メディアレスキュー 物理復旧	CD TEXT	転送速度エラー 回避機能	CDRメディア 製造元表示	その他の制限事項／注意事項
CED-8042B	—	○	○	×	—	—	—	
CED-8083B	1.05	○	×	×	書/読:○	—	○	
CED-8080B	1.11	○	×	×	書/読:○	—	○	
CED-8120B	—	○	×	×	—	—	○	・MIX CDはバックアップできない場合があります。 ・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。

【その他の注意事項】

*対応ドライブとして記述されたドライブ型番でありましても、接続I/Fが変換（例：ATAPIからUSB,IEEE1394,SCSIなど）されたドライブでは正常に動作できない場合があります。

*表中N/Aは、ドライブ(F/W) 毎に機能搭載の有無が異なるために特定できないことを指しています。

LTE-ON								
ドライブ型番	ファームウェア バージョン	Disc At Once	ダイレクト カッティング	メディアレスキュー 物理復旧	CD TEXT	転送速度エラー 回避機能	CDRメディア 製造元表示	その他の制限事項／注意事項
LTR-0841	MS0S	○	×	×	書/読○	—	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。
LTR-12101B	—	○	○	×	書/読○	○	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。
LTR-16102B	OS06	○	○	×	書/読○	○	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。 ・ISRC／カタログコードの書き込みはできません。
LTR-24102B	—	○	×	×	書/読○	○	○	・CD-RWメディアを最終セッションから消去することはできません。 常にメディア全体の消去となります。 ・ISRC／カタログコードの書き込みはできません。
LTR-32123S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-32123H	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-32102S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-32102H	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-3248MH	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-40125S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-40125W	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-40126S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-40126H	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-48125W	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-48126S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-48246S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-32122	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-32122A	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-32122B	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-32122C	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-40122	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-40122A	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-40122B	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LXR-40122C	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52246K	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52246S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-48125G	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-48246K	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52326K	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52326S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52327K	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。
LTR-52327S	—	○	○	×	書/読○	○	○	・転送エラー回避機能は常にONとなります。

【その他の注意事項】

*対応ドライブとして記述されたドライブ型番でありまして、接続I/Fが変換（例：ATAPIからUSB,IEEE1394,SCSIなど）されたドライブでは正常に動作できない場合があります。

*表中N/Aは、ドライブ(F/W)毎に機能搭載の有無が異なるために特定できないことを指しています。